

序論

日本ではアニメーションは、1910以来発展してきた。それらは日本の社会の生活に浸透している。日本のアニメにはさまざまなジャンルがある。児童のものから大人も児童も見られるものまでである。しかし、1997年から放映された。クレヨンシンちゃんという児童向けのアニメは児童かみるべきものではないと思う。なぜならば内容的にみてこれは大人が見るようなものだからである。

時代が進むにつれ生活様式もくわってくるのである。大都市のような東京では人々は日常生活の単調さに嫌気がさし、別の世界をためている。これは見るアニメによって見られる。人々は精神的、神話的なものを見るようになるのである。

日本には伝説があり神話がある。これらはもちろん僞習信似に支えられるのである。これらの伝説神話も多くアニメの題材に邨り挙げられている。本論文は烈火の炎、ドラゴンボール、サントサイヤ、犬夜叉、エクス、に出た龍を神話産点から見て今析するものである。今析方は記迷今析、文献調査により行こう。

本論

以下にそれぞれのアニメに出た龍の透を述べる。烈火の炎ではやまたのおろちのように頭が八つあり、体全体がうろこで覆われ、火になっている。この龍は烈火の人が龍にかけている。烈火の詩誌どれほど強いかを試している。ドラゴンボールにおいては龍は神龍として描がられている。この龍は常に人間の頭を叶えてくれるのである。龍は世を育む性筧と世をほろぼす性筧の二つの性筧を有している。悪い面を出すのは、人間が自己中心的になった。場台である。セイントサイヤにおいては龍は体全体が青い水になっており。三つの頭をしたものとして描がられている。シリウという主人は水の力をまっっており、この力を持ってさまざまなことをすることができる。シリウの先生はシリウにまっっており力を無駄にせず、大きいに使うようと考えた。滝の中にある龍は自今を負かす詩誌の強い人間をまっっているのである。犬夜叉とは龍はシコンの玉、にばどっている。シコンの玉というのは人間の世界と霊界の均衡を保つものである。犬夜叉では龍は二つの種類に分かれている。一つ、皇子がシコンの玉、を作っている。白く小さい龍で悪霊を清めるものであり。もうひとつはマイナスなエナージを多く。大きいな恐ろしい龍で、人間をほろうぼそうとしている。エクスでは、龍はてNの龍と地の龍からなる。両方ともひれをもら、角をはやしている。両方の龍の性裕は、街むである。人間の性裕に影響され、まっった黒い逆の性裕である。

結論

五つのアニメに出ている龍を見てみた結果、龍には人の願いを叶える善龍と、人間を試す悪龍がある。また、龍の性格は、人間のそれに左右されは場合がある。

DAFTAR ISI

LEMBAR PENGESAHAN

KATA PENGANTAR

BAB I PENDAHULUAN

1.1	Latar belakang masalah	1
1.2	Pembatasan masalah	8
1.3	Tujuan penulisan	8
1.4	Metode dan teknik penulisan	8
1.5	Organisasi penulisan	12-13

BAB II MITOS NAGA

2.1	Asal usul naga	14
2.2	Mistik di Jepang	16
2.3	Mitos naga di Jepang	19
	2.3.1 Tipe Naga di Jepang	22
	2.3.2 Karakter Naga	25
	2.3.3 Elemen naga	25-26

BAB III ANALISIS NAGA DALAM BEBERAPA ANIME

3.1 Naga menurut anime レッカの烈火 Recca no Honno

3.1.1	Bentuk naga	27
-------	-------------	----

3.1.2	Elemen naga	29-30
3.1.3	Karakter naga	30-31
3.2	Naga menurut anime ドラゴンボール Dragon ball	
3.2.1	Bentuk naga	32
3.2.2	Elemen naga	34
3.2.3	Karakter naga	34-36
3.3	Naga menurut anime サイントサイヤ Saint Seiya	
3.3.1	Bentuk naga	36
3.3.2	Elemen naga	36
3.3.1	Karakter naga	37-39
3.4	Naga menurut anime 犬夜 Inuyasha	
3.4.1	Bentuk naga	39
3.4.2	Elemen naga	40
3.4.3	Karakter naga	41-42
3.5	Naga menurut anime エクス X	
3.5.1	Bentuk naga	42
3.5.1	Elemen naga	43
3.5.2	Karakter naga	44-47

BAB IV KESIMPULAN 48-52

DAFTAR PUSTAKA

SINOPSIS